



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月13日

上場会社名 株式会社 東理ホールディングス

上場取引所 東

コード番号 5856 URL <http://www.tori-holdings.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 福村 康廣

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 忍田 登南

TEL 03-3548-1014

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	9,952	△3.1	△405	—	△383	—	△494	—
24年3月期第2四半期	10,269	△2.8	△135	—	△132	—	△187	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △688百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 6百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△5.31	—
24年3月期第2四半期	△2.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	8,461	5,066	59.9	54.41
24年3月期	9,757	5,755	59.0	61.81

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 5,064百万円 24年3月期 5,753百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成25年3月期の配当支払につきましては未定としております。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,220	△6.6	△392	—	△283	—	△445	—	△4.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ー 社 (社名) 、 除外 ー 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	93,485,800 株	24年3月期	93,485,800 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	405,019 株	24年3月期	405,019 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	93,080,781 株	24年3月期2Q	93,080,781 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続きを実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、依然として厳しい状況の中、震災の復興需要などを背景に、生産活動や輸出、個人消費などに持ち直しの動きが続く、回復傾向にありますが、円高の長期化や欧州の債務危機問題に加え、世界経済の減速懸念が高まるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のなか、成長性と安定性を重視した事業ポートフォリオの構築を基本方針として投資先であるグループ企業のバリューアップに努めてまいりました。その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高99億5千2百万円（前年同期比3.1%減）、営業損失4億5百万円（前年同期営業損失1億3千5百万円）、経常損失3億8千3百万円（前年同期経常損失1億3千2百万円）、四半期純損失4億9千4百万円（前年同期四半期純損失1億8千7百万円）となりました。

当社グループの各事業の概況は下記のとおりであります。

（ダイカスト事業）

当事業におきましては、主要取引先であります自動車業界では、東日本大震災の影響により落ち込んでいた生産が回復し受注も増加してまいりましたが、その他の業界では経済状況の変化などにより売上が減少しました。原価低減等の経営の効率化に努めましたが、売上高は13億6千8百万円（前年同期比23.4%減）、セグメント損失（営業損失）1億6千8百万円（前年同期セグメント損失6千万円）となりました。

（食品流通事業）

当事業におきましては、主要販売商品である酒類につきましては、消費者の低価格志向、酒類販売免許の完全自由化に伴う競合相手の増加の影響が引き続いております。また、当社店舗閉鎖の影響もあり、合理化による経費の削減に努めましたが、売上高は53億3千7百万円（前年同期比1.9%減）、セグメント利益（営業利益）2千5百万円（前年同期比45.8%減）となりました。

（酒類製造事業）

当事業におきましては、業界全体における酒類の出荷数量は、前年と同程度であったと見込まれますが、内訳をみると、ウイスキー及びスピリッツ類が伸び、当社の主力商品である乙類焼酎は減少となっております。さらに、景気は緩やかに回復しつつあるものの、個人消費の冷え込みにより、低価格志向の流れが引き続いております。また、売上構成比の変化により利益率が低下しました。このような状況の中、売上高は13億7千3百万円（前年同期比3.6%減）、セグメント利益（営業利益）5千9百万円（前年同期比33.6%減）となりました。

（教育関連事業）

当事業におきましては、医療・福祉法人と提携し認知症緩和ケア教育（タクティール教育を含む）の実施を行っている部門、株式会社立「ウィッツ青山学園高等学校」の運営を行っている部門及び主に学校・学習塾向け教材の制作・販売及びテスト関連事業を行っている部門の三つに大別されます。認知症緩和ケア教育等の普及につきましては、認知症ケアに対するニーズは大きく各地でのセミナー開催や広告効果により認知度は高まりつつあり、高等学校（定時制・通信制）運営につきましては、開校後比較的新しい学校のため生徒数増大が最重要課題であり、本校生徒の獲得はもちろんのこと特に通信制課程の生徒獲得に注力しております。テスト関連部門では、中学生向け会場テストの新採点方式が高評価を受け、公立中学を中心にシェアを確保しました。教材制作・販売においては改訂後の教科書の販売促進に力をいれたため売上高が増加いたしました。原価に関しては教科書の改訂に伴い初版印刷になるためコスト増加となりました。その結果、全体として売上高は13億8千1百万円（前年同期比6.5%増）、セグメント損失（営業損失）5千4百万円（前年同期セグメント利益8百万円）となりました。

（リフォーム関連事業）

当事業におきましては、受注競争が厳しい中、売上高は減少となり、また粗利益率が低く、原価低減に努めましたが、売上高2億6千7百万円（前年同期比15.9%減）、セグメント損失（営業損失）2千8百万円（前年同期セグメント損失7百万円）となりました。

（その他）

当事業におきましては、損害保険代理業務、不動産事業等を行っており、売上高2億2千3百万円（前年同期売上高2百万円）、セグメント利益（営業利益）6千1百万円（前年同期比75.5%増）となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は84億6千1百万円となり前連結会計年度末に比べ12億9千5百万円減少いたしました。

これは主として、現金及び預金が4億3千1百万円、受取手形及び売掛金が1億9千5百万円、販売用不動産が1億7千6百万円、仕掛品が1億1千9百万円、投資有価証券が2億8千1百万円それぞれ前連結会計年度末に比べ減少したことなどによります。

当第2四半期連結会計期間末における負債は33億9千4百万円となり前連結会計年度末に比べ6億6百万円減少いたしました。

(株)東理ホールディングス(5856) 平成25年3月期 第2四半期決算短信

これは主として支払手形及び買掛金が6億3千6百万円前連結会計年度末に比べ減少したことなどによります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は50億6千6百万円となり前連結会計年度末に比べ6億8千8百万円減少いたしました。

これは主として四半期純損失4億9千4百万円を計上したことによります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、当第2四半期連結会計期間における業績の推移を勘案し、業績予想を行った結果、平成24年9月27日に公表しました平成25年3月期の通期(連結・個別)業績予想を修正しております。

なお、業績予想の具体的内容は、本日発表の「業績予想の修正等に関するお知らせ」をご参照下さい。

業績予想は現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的リスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績はさまざまな要因により上記の業績予想とは異なることがあります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純損益に対する税効果適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて算定しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更に伴う損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,286,131	1,854,260
受取手形及び売掛金	1,609,158	1,413,705
有価証券	21,285	21,849
販売用不動産	326,668	150,000
商品及び製品	1,286,691	1,189,567
仕掛品	407,139	287,649
原材料及び貯蔵品	250,349	224,838
未収入金	73,790	81,627
未収還付法人税等	—	39,996
その他	139,257	164,079
貸倒引当金	△3,891	△11,496
流動資産合計	6,396,580	5,416,076
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	551,446	513,381
その他（純額）	1,001,353	946,818
有形固定資産合計	1,552,800	1,460,200
無形固定資産		
のれん	491,055	471,770
その他	110,095	97,103
無形固定資産合計	601,150	568,873
投資その他の資産		
投資有価証券	599,937	318,096
敷金	301,121	325,187
出資金及び保証金	254,502	260,988
長期貸付金	139,963	117,763
破産更生債権等	1,067,747	377,818
その他	164,419	133,851
貸倒引当金	△1,320,947	△517,298
投資その他の資産合計	1,206,743	1,016,408
固定資産合計	3,360,694	3,045,481
資産合計	9,757,275	8,461,558

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年 3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年 9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,127,203	1,490,648
短期借入金	175,321	216,944
1年内償還予定の社債	30,000	30,000
未払金	311,820	322,427
未払法人税等	31,658	23,814
未払消費税等	38,128	50,533
未払費用	294,210	247,897
賞与引当金	36,345	36,840
工場移転損失引当金	—	45,550
災害損失引当金	37,225	30,662
その他	99,252	106,524
流動負債合計	3,181,165	2,601,843
固定負債		
社債	30,000	15,000
長期借入金	142,912	171,120
長期未払金	51,144	47,664
退職給付引当金	33,612	34,715
資産除去債務	25,044	26,192
デリバティブ債務	395,864	393,194
長期リース資産減損勘定	123,738	82,413
繰延税金負債	15,262	15,948
その他	2,837	6,662
固定負債合計	820,416	792,911
負債合計	4,001,581	3,394,755
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,000,000	4,000,000
資本剰余金	880,756	355,456
利益剰余金	△3,294,757	735,830
自己株式	△27,234	△27,234
株主資本合計	5,558,764	5,064,052
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	194,960	561
その他の包括利益累計額合計	194,960	561
少数株主持分	1,968	2,189
純資産合計	5,755,693	5,066,803
負債純資産合計	9,757,275	8,461,558

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	10,269,662	9,952,077
売上原価	8,310,593	8,181,269
売上総利益	1,959,069	1,770,808
販売費及び一般管理費	2,094,812	2,176,473
営業損失(△)	△135,743	△405,664
営業外収益		
受取利息	2,115	1,900
受取配当金	251	479
有価証券運用益	—	564
匿名組合利益	6,699	8,292
受取賃貸料	2,481	3,383
補助金収入	16,975	21,422
更正決定延滞税額戻入額	79,799	—
貸倒引当金戻入額	—	39,426
その他	24,796	33,092
営業外収益合計	133,118	108,562
営業外費用		
支払利息	7,007	5,533
手形売却損	2,748	1,788
為替差損	105,159	62,034
その他	14,547	17,199
営業外費用合計	129,462	86,556
経常損失(△)	△132,086	△383,658
特別利益		
固定資産売却益	2,080	2,201
受取補償金	—	25,200
特別利益合計	2,080	27,401
特別損失		
固定資産除売却損	5,733	—
貸倒引当金繰入額	37,000	—
過年度決算訂正等関連費用	—	58,899
店舗閉鎖損失	—	12,475
工場移転損失引当金繰入	—	46,115
役員退職慰労金	3,000	6,000
その他	407	—
特別損失合計	46,140	123,489
税金等調整前四半期純損失(△)	△176,147	△479,746
法人税等	11,008	14,744
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△187,155	△494,491
少数株主利益	384	220

(株)東理ホールディングス(5856) 平成25年3月期 第2四半期決算短信

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
四半期純損失(△)	△187,539	△494,711

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△187,155	△494,491
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	194,105	△194,399
その他の包括利益合計	194,105	△194,399
四半期包括利益	6,950	△688,890
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,566	△689,111
少数株主に係る四半期包括利益	384	220

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年8月4日付で、資本金の額の減少及び剰余金の処分を行っております。

この結果、当第2四半期連結累計期間において資本金が4,000,000千円減少し、第2四半期連結会計期間末において資本金が4,000,000千円となっております。資本金の減少により増加する資本剰余金のうち、4,525,299千円を利益剰余金に振替えることにより、欠損の填補を行い、資本剰余金は355,456千円となり、利益剰余金は735,830千円となっております。